

遠藤 守 レポート

都議会公明党：新宿区西新宿2-8-1 TEL：5320-7250 FAX：5388-1787

<http://endomamoru.com>

お気軽にご意見・ご要望をお寄せください。

定例会控え、精力的に視察・公式行事へ

6月の定例会を前に、遠藤守は、視察、都公式行事への参加等、精力的に活動しています。その一端を報告します。

○「わが任務の標準を高くせん」○

【5月12日】

都立荏原看護専門学校の「戴帽式」に出席。

戴帽式とは、臨床実習を前にした2年次の学生が、看護のシンボルであるナースキャップ（男子はバッチ）を初めて授かる儀式。式で暗誦された「ナイチンゲール誓詞」のなかに「われはわが力の限り わが任務の標準を高くせんことを努むべし」とあり、政治に携わる者も心すべき言葉と自戒。

○重大事故受け蒲田署に要請○

【5月1日】

大田区東六郷の国道15号の交差点で4月24日に発生した、トラックと乗用車の追突事故を受け、蒲田警察を訪問。橋内署長に対し、右折車専用信号の設置など再発防止を要請した。橋内署長は「要望の内容は、警視庁本部とも協議し検討する」と述べ、今後、前向きに対応するとの心象を得た。

○「尾崎士郎記念館」オープン○

【5月1日】

大田区と縁の深い文士・尾崎士郎氏の業績を後世に伝える「大田区立尾崎士郎記念館」

が開館し、現地での記念式典に参列。

「馬込文士村」の整備について遠藤守は、平成18年3月2日の都議会一般質問で「文士村はオール東京、否、オールジャパンの文化、観光資源であり、何より東京の高い精神性を発信する絶好の媒体である」と主張し、都も積極的に支援すべきと訴えていた。

○“ネットカフェ難民”支援○

【4月28日】

インターネットカフェや漫画喫茶などに寝泊りする、いわゆる「ネットカフェ難民」を支援するため、都がこのほど開設した「TOKYOチャレンジネット」（新宿区歌舞伎町）を視察。

一連の支援メニューのうち、特に目を引くのが「生活サポート特別貸付」。住宅資金と生活資金合計で60万円（上限）が、都内での生活期間が直近で6カ月以上ある、などの条件をクリアすれば、無利子、保証人なしで借りられる。

○三宅島空路再開で記念式典○

【4月23日】

噴火のため2000年から閉鎖されていた三宅島空港への、定期便再開を祝う行事が同島で行われ、石原知事、都議会各派代表らと列席。一行と別れ、遠藤守は翌日まで現地に残り、島内の復興状況を見て回った。